

受付番号

2025-52

許可番号

大歯医倫 第 111446 号

研究課題名

大阪歯科大学附属病院矯正歯科における口唇裂・口蓋裂患者に関する 25 年間の実態調査

研究責任者

矢野 蒔子

申請者

矢野 蒔子

研究終了日

2027 年 3 月 31 日

所属

歯科矯正学講座

所属

歯科矯正学講座

職名

助教

職名

助教

申請の概要

口唇裂・口蓋裂患者は口腔外科・形成外科・矯正歯科・補綴科・耳鼻咽喉科など多くの専門家によるチーム医療が必要となり、出生から成人に至るまで成長発育の適切な時期に、適切な医療が行われる必要がある。その中で矯正歯科は乳歯列期から永久歯列期まで、それぞれの咬合異常に応じた矯正歯科治療が必要となり、長期的な口腔管理が求められ、チーム医療の中で重要な役割を担っている。大阪歯科大学附属病院では 1911 年の創立以来、「博愛」と「公益」の建学の精神のもと、地域に根ざした大学病院として健康増進と長寿に寄与できるよう地域へ医療の提供を行ってきた。2000 年から 2024 年までの 25 年間に大阪歯科大学附属病院矯正歯科に来院した口唇裂・口蓋裂患者の実態を把握し、臨床疫学的調査を行うことで、地域医療における矯正歯科の役割を再評価することを目的とする。本研究により臨床疫学的調査によって、統計が明らかになれば、形成外科や耳鼻咽喉科などの多職種への口唇裂・口蓋裂患者の矯正歯科治療を当院にて行っていることを広く周知でき、より多くの口唇裂・口蓋裂患者の紹介につながり、更なる地域の医療貢献の向上が期待される。